

原子力発電所の運転および建設状況等

平成 15 年 12 月 3 日現在

1. 運転または建設中の発電所

設備容量 運転中：13基 計 1128.5万kW 建設中：1基 計 28.0万kW
 (県内で運転中の原子炉13基は全て定格熱出力一定運転導入済)

発電所名 項目	日本原子力発電(株) 敦賀発電所		関西電力(株) 美浜発電所			関西電力(株) 大飯発電所				関西電力(株) 高浜発電所				核燃料サイクル 開発機構 高速増殖原型炉 もんじゅ	
	1号機	2号機	1号機	2号機	3号機	1号機	2号機	3号機	4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	運転中 発電所 合計	
現 状	運転中	運転中	運転中	運転中	運転中	運転中	運転中	運転中	運転中	運転中	運転中	運転中	運転中		
平成 15 年度	77.1	77.9	100.0	74.1	82.5	78.9	100.0	100.0	80.0	100.0	65.4	100.0	79.5	85.8	
時間稼働率(%)	76.9	79.1	101.9	72.5	83.4	78.5	101.3	101.8	81.1	104.4	67.2	103.8	81.6	87.7	
設備利用率(%)	16.1	53.7	20.3	21.2	40.3	54.0	69.7	70.3	56.1	50.5	32.5	52.9	41.6	579.2	性能試験中 (事故停止中)
発電電力量 (億kWh)	68.8	82.6	53.4	62.1	75.9	65.2	72.4	89.0	85.6	67.4	68.1	85.5	85.1	71.0	
時間稼働率(%)	66.0	82.2	50.7	60.3	74.5	64.0	71.3	88.6	85.5	65.9	66.5	85.3	84.7	72.3	
設備利用率(%)	695	1,403	499	829	1,457	1,628	1,762	1,096	957	1,386	1,350	1,227	1,195	15,699	
発電電力量 (億kWh)															

2. 運転を終了した発電所

発電所名 項目	核燃料サイクル開発機構 新型転換炉ふげん (16.5万kW)
現 状	廃止措置準備中、定期検査中
稼働期間	S54.3.20 ~ H15.3.29
時間稼働率	63.8 % (発電停止日時まで)
設備利用率	62.2 % (発電停止日時まで)
発電電力量	216 億kWh

(注) 稼働率は平成 15 年 11 月末現在、

果計は営業運転開始以降。

$$\text{時間稼働率} = \frac{\text{発電時間}}{\text{暦時間}} \times 100 (\%)$$

$$\text{設備利用率} = \frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間}} \times 100 (\%)$$

<本件に関する問い合わせ先>

原子力安全対策課 (担当：宮川)

(県庁内線)2353 (直通)0776-20-0314

<http://www.atom.pref.fukui.jp/>

3. 各発電所の特記事項

(1) 運転中の発電所

敦賀発電所 2号機	<p>○ 第13回定期検査 (H15.9.5～11.26) H15.9.5 0:00発電停止。10.26 16:00原子炉起動、10.27 0:00臨界。</p> <p>10.29 11:00調整運転開始。11.26 15:30営業運転再開。</p> <p>★ 11.19 23:06 A-非常用ディーゼル発電機潤滑油プライングポンプ電動機で地絡が発生。潤滑油系統の機能は維持されていることを確認したが、当該電動機を取換のため、11.20 10:29 A-非常用ディーゼル発電機を待機除外とし、予備品と交換し、21:38待機状態に復帰。 [11.26 発表済]</p>
美浜発電所 2号機	<p>○ 第21回定期検査 (H15.9.12～12月中旬) H15.9.12 1:00発電停止。11.16 22:00原子炉起動、23:00臨界。</p> <p>11.17 12:20調整運転開始。</p> <p>★ H15.11.4 17:56原子炉起動、11.5 0:30臨界。11.6 16:54調整運転を開始したが、11.9 7:00頃、加圧器スプレ配管の空気抜き用ライン (ベントライン) の閉止栓にわずかなほう酸の析出を発見し、監視強化していたが、その後わずかな漏えいを確認。</p> <p>11.9 21:00発電停止、21:37原子炉停止して調査した結果、ベントラインのベント弁において、わずかな締め付け力不足と、弁棒と弁箱の材料の違いによる熱膨張の差からわずかな隙間 (シート漏れ) が発生したと推定、また閉止栓内側のOリングの一部の損傷を確認。その結果、ベント弁のシート漏れにより漏えいした一次冷却水が、閉止栓のOリング損傷により外部に漏えいしたと推定。対策として損傷したOリングを取換えるとともに、系統温度が高温の状態でのベント弁の増締めと漏えい確認を行ない復旧。 [11.9, 14 発表済]</p>
高浜発電所 2号機	<p>○ 第21回定期検査 (H15.8.1～11.19) H15.8.1 23:00発電停止。10.25 2:30原子炉起動、11:00臨界。</p> <p>18:06調整運転開始。11.19 15:00営業運転再開。</p>

(2) 建設中・性能試験中の発電所

高速増殖原型炉もんじゅ	<p>★ H7.12.8 中間熱交換器(C)二次系出口配管からのナトリウム漏えいに伴い、原子炉手動停止。</p> <p>○ 平成15年度設備点検 (H15.5.6～H16.1月予定)</p>
-------------	---

(3) 運転を終了した発電所

新型転換炉ふげん発電所	<p>○ 第18回定期検査 (H15.6.27～H16.3月末)</p>
-------------	--------------------------------------

11月の主な出来事

1. 県内の動き

- 11月 5日(水) ・(財)電源地域振興センター主催の「エネルギープラザ2003 福井・高浜」が高浜町で開催され、全国の電源立地自治体関係者が地域振興などについて意見交換を行なった。
- 10日(月) ・第19回もんじゅ安全性調査検討専門委員会の福井原子力センターで開催され、前回委員会で作成した報告書(案)についての県民意見募集で寄せられた意見を踏まえ、報告書の取りまとめについて審議が行なわれた。
- 14日(金) ・もんじゅ安全性調査検討専門委員会の児嶋座長(福井大学学長)は、取りまとめた報告書を西川知事へ提出した。
- 15日(土) ・県原子力防災訓練の総合訓練が、日本原電敦賀発電所1号機の事故を想定し、関係96機関から約1600人が参加して敦賀原子力防災センター等で実施され、地域住民を海上避難させる訓練や、京都府等への二次被災者への搬送訓練等が今回新たに実施された。
- 21日(金) ・西川知事は、もんじゅ安全性調査検討専門委員会の報告書を踏まえ、河村文部科学大臣、中川経済産業大臣、佐々木原子力安全・保安院長に対し、もんじゅの安全確保等についての要請を行なった。同日、山本副知事から都甲核燃料サイクル開発機構理事長に対しても同様の要請を行なった。
- 26日(水) ・福井県警察本部と第八管区海上保安本部が合同で、原子力発電所が標的のテロを想定した共同図上訓練を県警本部で実施した。
- ・次世代原子力技術開発を進める国際プロジェクト「第四世代原子力システム国際フォーラム」の「『ナトリウム冷却高速増殖炉』(SFR) 運営委員会」が敦賀市で開催され、日米英仏韓5ヶ国の専門家6人がSFR研究の規格化や研究管理工程などについて意見を交わした。
- 27日(木) ・日本原子力産業会議主催により、原子力の役割や高速増殖炉の意義について話し合うFBR国際ワークショップが敦賀市で開催され、経済協力開発機構・原子力機関(OECD/NEA)のルイス・エチャバリ事務局長が講演した。
- ・経済産業省と県環境・エネルギー懇話会の共催で、総合学習での環境エネルギー教育のあり方を考えるセミナーが福井市で開催され、県内小中学校教諭約400人が参加した。
- 12月 1日(月) ・西川知事は、佐藤福島県知事、平山新潟県知事とともに、中川経済産業大臣、福田官房長官を訪問し、原子力安全・保安院の経済産業省からの分離などの分離など、原子力規制体制の見直しを検討するよう要請した。

2. 記者発表実績

4日(火)	・ 第19回もんじゅ安全性調査検討専門委員会の開催について	資料配付
6日(木)	・ 高浜発電所1号機の新燃料輸送について	資料配付
9日(日)	・ 美浜発電所2号機の発電停止について (第21回定期検査の調整運転中)	資料配付
14日(金)	・ 美浜発電所2号機の発電停止について (加圧器スプレ配管ベントラインからの1次冷却水漏れの原因と対策)	記者発表
19日(水)	・ 高浜発電所1号機の新燃料輸送について	資料配付
	・ 高浜発電所2号機の営業運転再開について (第21回定期検査)	資料配付
21日(金)	・ 大飯発電所3号機の新燃料輸送について	資料配付
26日(水)	・ 大飯発電所2号機の新燃料輸送について	資料配付
	・ 敦賀発電所2号機の営業運転再開について (第13回定期検査)	資料配付
28日(金)	・ 高速増殖原型炉もんじゅの安全性に係わる県民説明会の開催について	資料配付